

(23) ボート (55回)

1 期 日

| | | |
|---------|-------------|-------------|
| 9月1日(金) | 09:00～15:00 | 公式練習 |
| | 15:30:開会式 | 16:00:代表者会議 |
| 2日(土) | 09:00～ | 予選・敗者復活 |
| 3日(日) | 09:00～ | 準決勝・決勝 |

2 会 場

花巻市田瀬湖ボートコース

3 種 目

男子 舵手付クォドルプル・ダブルスカル・シングルスカル
女子 舵手付クォドルプル・ダブルスカル・シングルスカル
(男女各種目とも1,000m)

4 参加資格

- (1) 岩手県ボート協会所属のボート団体員で(公社)日本ローイング協会に対し令和5年度の選手登録完了の高校1年生、2年生で平成18年4月2日以降に生まれた者。なお、同一学年での参加は1回限りとする。
- (2) 競技者は基本的な水泳の能力として、以下の2項目が求められる。
 - ① 50m泳げること。
 - ② 水中でどこにも捕まらずに、3分以上、首から上を水の上に維持できること。
この能力がない者は、レース出漕時に救命具を身に付けるか、ライフジャケットを着用しなければならない。このことについては参加校監督が責任を持つこととする。
- (3) 男子種目については男子の舵手、女子種目については女子の舵手とする。

5 競漕方法

- (1) (公社)日本ローイング協会競漕規則による。
- (2) ただし、各種目において出漕クルー数が会場に設置可能なレーン数以下の場合以下の競漕方法を行うこともある。
 - ① 出漕全クルーで複数回レースを行い、1着を2回先取したクルーを1位とする。
 - ② 2位以下の順位は全レースを漕了したクルーにおける平均タイムにより決定する。
- (3) また、競漕委員会の判断で予選および上記(2)のレースにおいては最初のレースに限って、レッドカードを受けたクルー(棄権・放棄を除く)を次のラウンド(敗者復活)以降での出漕を認めることがある。その際の順位およびタイムの扱いについては競漕委員会で決定する。

6 使用艇

使用艇は、競漕規則に適合するものを各校で準備するものとする。なお、会場までの運搬は各校で行い、その費用は各校で負担するものとする。

7 表 彰

種目別1位～3位まで賞状を授与する。

8 総合優勝

男女ごとに優勝数の多い学校を総合優勝とする。
優勝数同数の際は、選手人数の多い種目の優勝校を総合優勝とする。
2位以下も上記同様に決定する。

9 出漕申込

別紙申込書を使用し、8月7日(月)必着で郵送・メール・FAXいずれかの手段で申し込むこと。出漕料は下記口座に振り込むこと。

申込先 〒024-8518 北上市村崎野24地割19番地 黒沢尻工業高等学校内
五十嵐 誠 宛
ptf23-igarashi-makoto@iwate-ed.jp

振込先 岩手銀行 緑が丘支店
普通預金 1127814
高体連漕艇専門部 部長 助川 剛栄

10 出漕料

| | | |
|-----------|----|--------|
| 舵手付クォドルプル | 1艇 | 6,000円 |
| ダブルスカル | 1艇 | 1,200円 |
| シングルスカル | 1艇 | 600円 |

11 抽選日

8月22日(火) 場所 田瀬湖艇庫

~~12 宿泊昼食申込~~

~~学校ごと、宿泊を申し込むこと。~~

~~宿泊料 選手 1泊2食 6,600円(税込)~~

~~監督 1泊2食 7,260円(税込)~~

~~昼食 600円(税別)~~

12 その他

- (1) 1、2位クルーは、第38回東北高等学校選抜大会出漕を認定する。ただし、同一校から同一種目に2クルーの出漕は認定できないため、そのような場合は3位以下のクルーを繰り上げて認定する。尚、東北高等学校選抜大会実施要項が変更になった場合には、それに従う。
- (2) 出漕クルーは乗員全員がユニフォームに統一した様式により県名・学校名を明記すること。
- (3) 一人で2種目以上の出漕は認めない。
- (4) 各校の出漕クルー数は制限しないものとする。
- (5) メンバーの交代はあらかじめ届け出た補欠の範囲内で行うこと。
- (6) レース中、回漕クルーは競漕水域の外側で、レースの100m手前からレースが通過するまで、停止しなければならない。